

編集後記

慢性関節リウマチとその周辺を専門的に扱う領域をリウマチ学と称するが、その認定医制度是非をめぐって最近までかなりもめていた。というのも事情がリハビリテーション医学と似たところがあり、内容が包括的な点もかなりあるために他の学会との関連を無視出来ないのである。そして全国すべての大学や研究所に必須のものかというところでもなくやはり特色がふさわしいところに設置されてよいものである。欧米ですべての大学に存在するわけではないし本邦のような手狭のところでは地域別に1〜数ヶ所で事足りるのではないか、そんな意見も聞かれたことであろう。

しかしこの慢性関節リウマチという疾患をもし患者の側から見れば実に恐ろしい incapacitated な疾患ということがわかるし、専門に新しい良い研究治療法の開発等が非常に切望されている分野であることがわかる。

しかもこの疾患による社会の損失は莫大なものであり、そのような意味でリハビリテーション医療を有効に行うことによりかなりのコストの節減にも連なるのである。

特集としてお書きいただいた方々はそのような意味を含めて記述して下さったが、御巫清允氏が本邦における大学病院唯一の専門研究施設に居られるのでまとめをしていただいた。RA に対する病態生理の解明が進むとだ

んだん単なる抗炎症、抗リウマチ剤ばかりが用いられるのではなく、免疫関係からも新薬の開発が行われていることは御巫・西岡両氏の指摘するところである。しかも早期治療の重要性が強調された。

つぎにステロイド療法もとやかく議論はされながらも RA とは切っても切れない、やはりその有効性は否めないとし川陽一氏は論述した。リハビリテーションの実際については大川弥生氏が豊富な自験例をもとにメニュー作りの手引き、さらには vocational survey を示した。武仲善孝氏は外科的立場から RA を論じリハとの関連、特に運動療法の重要性に言及した。安倍達氏は RA の周辺ということで SLE を含めて取り上げ免疫学上、主として自己抗体について述べた。

治療学が先行して病態生理学的研究が後から追従している形のこの分野にもかなりの進歩が見られることを読者は知らされる。それもここ20年くらいの間にである。

研究報告、症例報告共に順調。

また人の欄でとりあげられたリハ学会会長の鈴木良平教授、何といってもリーメンビュゲルの功績は大きい。

最後になるが御巫清允先生の特集に対する御協力を深謝する次第。

(大井 淑雄)

編集顧問

天 児 民 和
大 島 良 雄
河 邨 文 一 郎
五 味 重 春
砂 原 茂 一
津 山 直 一
土 屋 弘 吉

編集委員

明 石 謙
上 田 敏
緒 方 甫
大 井 淑 雄
大 川 嗣 雄
千 野 直 一
横 山 巖

編集同人

赤 津 隆
今 田 拓
今 村 哲 夫
岩 倉 博 光
江 口 壽 榮 夫
小 川 孟
荻 島 秀 男
奥 川 幸 子
加 倉 井 周 一
小 島 蓉 子
斉 藤 正 也
笹 沼 澄 子
澤 村 誠 志
高 橋 勇
高 松 鶴 吉
武 智 秀 夫
土 屋 和 夫
土 肥 豊
永 井 昌 夫
中 村 隆 一
野 島 元 雄
野 村 欽
長 谷 川 恒 雄
初 山 泰 弘
福 井 園 彦
松 村 秩
三 島 博 信
矢 谷 令 子
米 本 恭 三
渡 辺 英 夫
(五十音順)

総合リハビリテーション (第14巻 第6号)

1986年6月10日発行 (毎月1回10日発行)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 椿 孝 雄

1部定価 1,650円 (配送料60円)

(年ごめ予約購読料 18,480円)
(送料弊社負担)

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

電話 受付台 (03) 817-5600

本誌編集室直通 (03) 817-5704

(担当: 山田・細田)

販売部直通 (03) 817-5659・5660

ファクシミリ (03) 815-7802

振替口座 東京 7-96693番

印刷所 三報社印刷(株): 電話 (03) 685-3131

広告申込所 (株)東広社: 電話 (03) 409-8803

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 1986, Printed in Japan.
本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますので御注意下さい。